

【2023年度セミナー開催報告】

令和5年 第41回被服衛生学セミナー

～ 新たな気づきと意識改革 ～

芝崎学

奈良女子大学工学部

はじめに

第41回被服衛生学セミナーは『新たな気づきと意識改革』を全体のテーマとし、令和5年8月22日(火)23日(水)に、奈良女子大学で開催いたしました。新型コロナのために昨年度までオンラインセミナーでの開催でしたが、3年ぶりに対面式で開催しました。安心してご参加いただくことができるよう準備したのですが、運営側に体調不良者が出てご心配をおかけしましたこととお詫びいたしますとともに、多数の励ましのお言葉をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

セミナーの概要

セミナーは奈良女子大学の記念館講堂とDMG MORI棟で実施しました。本セミナーは(一社)日本家政学会活動助成を受けており、その趣旨に基づき1日目の講演を一般公開として無料で公開しました。参加者は36名で、一般の方13名、日本家政学会員23名(うち被服衛生学部会員21名)でした。1日目に公開シンポジウムを開催し、2日目にワークショップを実施しました。

プログラムは以下の通りです。

1) 日程

8月22日(火)

- 12:00～13:00 受付(記念館)
 13:00～13:10 開会挨拶
 13:10～15:50 公開シンポジウム『被服とともに生活する～新たな気づきと意識改革～』
 13:10～13:55 講演1『種々の衣服着用による温熱生理学的な変化』
 講師 平田耕造氏(神戸女子大学名誉教授)
 13:55～14:40 講演2『衣服内の「蒸れ」に影響を及ぼす布の性質とその人体生理への影響』
 講師 諸岡晴美氏(京都女子大学教授)
 14:40～15:25 講演3『生体防御システムと

しての痒みとその破綻による知覚異常』

講師 高浪景子氏(奈良女子大学准教授)

15:25～15:50 総合討論 25分間

15:50～16:00 休憩

16:00～16:45 企画講座説明 『インクルーシブデザイン～“新たな気づき”の見つけ方』

講師 ジュリア カセム氏(京都工芸繊維大学特任教授)

講師 ライラ カセム氏(奈良女子大学寄附講座准教授)

16:45～17:00 記念撮影

17:00～17:45 総会

18:30～21:00 懇親会

8月23日(水)

8:30～9:00 受付(DMG MORI棟)

9:00～12:15 ワークショップ『インクルーシブデザイン～“新たな気づき”の見つけ方』

9:00～9:30 ファシリテーター・デザインパートナー 挨拶・紹介

9:30～10:15 グループワーク I

10:15～10:30 コンセプトとプレゼン準備

10:30～10:45 第1次プレゼンテーション

10:45～11:45 グループワーク II

11:45～12:00 第2次プレゼンテーション

12:00～12:15 まとめ

12:15～12:20 閉会挨拶

岡本株式会社訪問

12:40～13:30 バス移動

13:30～16:00 社内ツアー

16:00～16:30 質疑応答・まとめ

17:00 解散(最寄りの駅までバス移動)

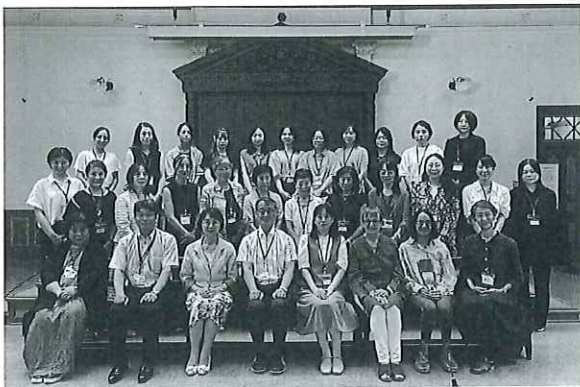
2) 公開シンポジウム

平田耕造氏より「種々の衣服着用による温熱生理学的な変化」として、衣服着用が人体にどのように影響するのか、被服衛生学に関連する生理反応を温熱生理学の視点からご講演いただきました

た。

諸岡晴美氏より「衣服内の「蒸れ」に影響を及ぼす布の性質とその人体生理への影響」として、布の性質が蒸散性熱放散（汗・不感蒸散）にどのように影響するのか、素材の特性から生体への影響についてご講演いただきました。

高浪景子氏より「生体防御システムとしての痒みとその破綻による知覚異常」として、衣服の皮膚接触によって誘発される痒みについて、痒みの伝達機構や修飾因子、脳との関連についてご講演いただきました。



3) ワークショップ

2 日目は、インクルーシブデザインの実践編として被服系のワークショップを開催しました。前日にインクルーシブデザインに関する第一人者としてロイヤル・カレッジ・オブ・アートで活躍されたジュリア カセム氏と、住友電工グループ社会貢献基金寄附講座でインクルーシブデザインを展開するライラ カセム氏から「インクルーシブデザイン～“新たな気づき”の見つけ方」として、インクルーシブデザインの概要と2日目の展開について解説がありました。2 日目はデザインパートナーとして、脊損と頸損のアスリート2名と元アスリート1名、視覚障害者2名、高齢警備員1名を招聘し、グループワークを通じて課題を探索し、そのアイデアから一般性を有する服飾デザインの



プロトタイプを製作しました。

4) 見学会

閉会後に恒例の施設見学として、靴下産業の盛んな奈良県広陵町の岡本株式会社へ訪問しました。会社概要説明の後、2班に分かれて、工場・実験室・工房を見学し、同社の研究者との交流会を実施しました。

おわりに

今回は3年ぶりの対面で夏季セミナーを実施しました。感染の懸念もあり、これまでの対面開催よりも参加者数は少なかったです。運営側は細心の注意を心掛けていましたが、完璧な感染対策は難しいと実感しました。ご不安を与えてしまったことを再度お詫び申し上げます。

そのような状況下でもシンポジストによる素晴らしいライブ感のある講演によって学ぶことの喜びを実感できたことに感謝いたします。また、参加者の皆様の積極的なワークショップでの活動が対面で意見を交換することの重要性を再認識することができました。

最後になりましたが、ご参加くださいました多くの皆様方、本セミナーの運営にご協力いただきました部会長・副部会長・部会計・企画委員・実行委員の先生方に心より感謝申し上げます。

第41回被服衛生学セミナー実行委員 (関西地区担当)

実行委員長：芝崎 学 (奈良女子大学)
実行委員： 諸岡晴美 (京都女子大学)
永井由美子 (大阪教育大学)
深沢太香子 (京都教育大学)
坂下理穂 (大阪成蹊短期大学)
企画委員： 佐藤真理子 (文化学園大学)
與倉弘子 (滋賀大学)
小野寺美和 (甲南女子大学)

<連絡先>

〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋西町
奈良女子大学工学部 芝崎 学
TEL: 0742-20-3992 (研究室直通)
Eメール: shiba@cc.nara-wu.ac.jp